

岐阜県家庭教育学級実践事例

在宅取組型(小学校)

| | |
|----------|---|
| 学校名等 | 輪之内町立仁木小学校 |
| 実施日時 | 令和7年11月11日～17日 |
| 会場 | 在宅取組 |
| 参加人数 | 全校親子(児童135名とその保護者) |
| 学習課題(分野) | 話そう!語ろう!わが家の約束週間 (基本的な生活習慣・挨拶及び礼儀・家族の大切さ) |
| 運営者の願い | 親子で約束を決めて取り組むことによって、コミュニケーションを深め、よりよい関係をつくり、子どもたちの自己肯定感を高めてほしい。 |

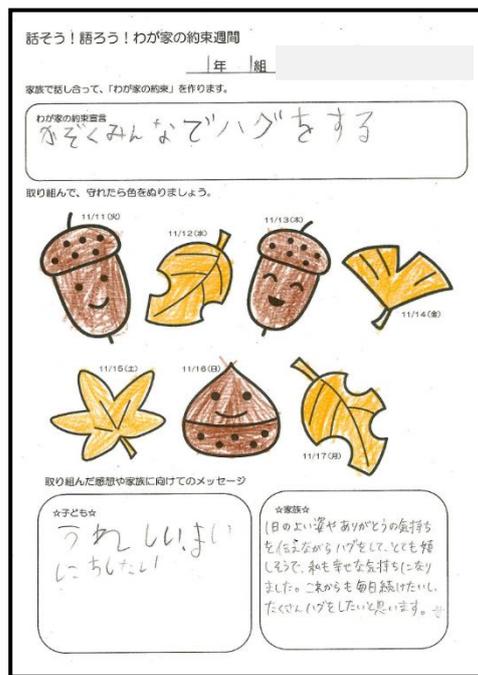
学習の内容

<取組方法>

- ① 「思いをつたえ いっしょにやりきろう」の動画を見る。
- ② 家族で話し合って「わが家の約束」(親子でやること・家族で取り組むこと)を決める。
- ③ 取組を実践カードに記録する。
- ④ 実践中や実践後に、家族で互いの思いを伝え合う。

<各家庭での実践例>

- ・ 家族で話す時間を増やす。
 - ・ 「ありがとう」「ごめんね」を言えるようにする。
 - ・ 今日、おもしろかったことを話す。
 - ・ 毎日1つは良いところを見つけて伝え合う。
 - ・ 家族と過ごす時間を増やす。(一緒にお出かけ・カードゲームをする)
 - ・ 一緒に散歩をしながら、頑張ったことを話す。
 - ・ 家族のために進んでお手伝いをする。
 - ・ 家族みんなでハグをする。
- ※ 家庭ごとの実態に合わせ、約束宣言を決めてカードに書き、1週間取組を行った。



<感想>

【児童】

- ・ 学校以外のこともたくさん話げできたのでよかったです。
- ・ 普段はやってもらって当たり前のように思っていたけど、「ありがとう」と言うことで心がぽかぽかになることが分かった。

【家族】

- ・ よいところをお互いに見つけ伝えることで温かい気持ちになりました。
- ・ ハグをされて嬉しうで、私も幸せな気持ちになりました。これからも毎日続けたいし、たくさんハグをしたいと思いました。



家庭の実態に合わせた取組

県の取組をもとに、各家庭の実態に合わせて約束を決め1週間の取組を行った。基本的な生活習慣の見直し(挨拶・メディア時間)やよさ見つけなどいろいろな取組があった。



家族時間のきっかけに

振り返りには、今後も続けたいというご意見もあり、家族との時間を増やすきっかけとなった。この取組中は、いつも以上に家族と過ごすことができたようだ。